

サポセンニュースレター 2024年猫柳号



**特集**  
 p2-3 地域力を高める！  
 町会・自治会 × 市民活動  
 コラボしてみませんか？

p4-5\_【サポセンの事業報告】

まつどみらいカイギ特集

- まつどみらいカイギ 2023
- 2018年～2022年のプレゼンテーマ
- みらいカイギプロジェクトのその後

p6\_【ある日のサポセン】

町会・自治会長さん必見！？  
 町会・自治会で活用できる最新ICTツール

p7\_【チャレンジャー】

循環する暮らしを愉しむ会

p7\_ サポセン新規届出団体

p8\_【スタッフコラム】

ボランティアで国際交流からはじまる関係



サポセン  
 メルマガ登録はこちら！  
<https://bit.ly/3gf0dh6>



まつど市民活動  
 サポートセンター

<http://www.matsudo-sc.com/>





地域力を高める!

町会・自治会 × 市民活動

コラボしてみませんか?

Win-Win!

にぎやかな駄菓子屋ひろば



いわせちややにはたくさんの人が出入りします



春日神社との協働行事の一つ年越初詣では巫女奉仕が名物!

飛び入り参加での餅つき体験は大盛況!



### 岩瀬自治会

岩瀬自治会は、防災意識を高めるために、「明るく楽しいみんなの岩瀬」というキャッチコピーを掲げ、気軽な雰囲気です。住民が何かに参加できるような機会を作っています。お祭りへの出店や焼き芋などは、お楽しみだけでなく、炊き出しなどいざという時に協力できるようにする訓練にもなっています。千葉大学や聖徳大学なども日ごろから協力しあい関係性を築いていることは強力な防災ともいえます。また、自治会外に住む人でも会員になれる仕組みが特徴的。少子高齢化で担い手が不足していく中でも、積極的に活動に参加してくれる人が関わられるようになっていきます。

いわぼんホール  
マスコットキャラクター  
"いわぼん"



「岩瀬リサイクル本棚」は持ち込み&持ち帰り自由! 会館の魅力UP!

### コラボ事例1 いわせちやや@いわぼんホール

- 主催 岩瀬自治会&アスケン
- 毎週水曜 10時~14時
- 自治会員は100円、町会外の方は300円 (フリードリンク、Wi-Fi あり)

元々地域で中高生のために開いていた「アスケン(アフタースクール研究会)」と自治会とで、定期的に「ワーキングスペース」としていわぼんホール(集会所)を開放しています。週ごとに「プチマルシェ(地域のお店から納品した食品の販売等)」や、「プチ講座(料理やウクレレ等いろいろ)を開催。同じ空間の中でおしゃべりしている人、新聞や本を読んでいるシニア男性、ミシンをしているママグループ、さらには、いわせちややの「なんだかおもしろそうな雰囲気」に釣られていろんな人がやってきます。

### 紙敷中内薄浦町会

2023年春、春日神社の境内に集会所を建替えました。建替検討委員会を立ち上げて、町会員だけでなく、建築家や大学の研究室を巻き込みながら約3年の時間をかけ設計した自慢の集会所「紙敷あんど」は、「居心地の良い街のリビングルーム」をテーマに、とことん使い方をシミュレーションして作り上げました。従来の町会集会所という枠を超え、次世代コミュニケーションペースとして、子育てひろばや音楽団・ダンスサークルの練習拠点、プライベートなパーティ等、様々な団体・個人に活用いただいています。



集会所「紙敷あんど」日本空間デザイン賞入選の空間は必見

### コラボ事例2 かみしき企画会議

町会では「集会所を使ってこんなことをしたい!」というアイデアがある人を町会内外から募り、実現をサポートする「かみしき企画会議」を開催しました。町会が伴走する形で議論を重ね、2023年末には餅つき大会&ミニ門松づくりイベントを実現。「NPO法人子育てひろばほわほわ」や「パパLABO」とのコラボで懐かしい習慣が復活しました。神社にある特性を生かして土地の伝統を守り、共存を模索する活動にも力を注いでいます。



イベントでつくったミニ門松

### 北松戸町会

北松戸町会では、以前から町会で続けている園芸クラブと、防災とも親和性のあるコンポストについての勉強会をするなど(今号の「チャレンジャー」の「循環する暮らしを愉しむ会」の小林さんが講師)、積極的に町会外からの風を取り入れていきます。近隣の人がコンポストをつくらせた堆肥を、町会の花壇で利用する「北松戸循環プロジェクト」もスタートしました。

町会の防災倉庫脇に設置された堆肥回収ボックスは、なんと町会長の手作り!



### コラボ事例3 駄菓子屋ひろば きたまつどみらい堂

- 主催 きたまつどごみゼロくらぶ
- 月に1回(第2土曜)13~16時 / 場所: 北松戸会館
- 入場料: 子ども無料、大人は300円 (駄菓子屋、ゲームコーナー、フリードリンクバー、ワークショップなど)

2022年5月から町内でゴミ拾いの活動を開始したことがきっかけで町会との交流がスタート。一周年イベントでは、町会から綿菓子の機械や発電機、テントなどの貸し出しがありました。町会長の西野さんは、定期的に発電機を動かしたりすることは、防災活動としても必要なことと考えているとのこと。町会では子どもが減っているものの、駄菓子屋ひろばには、近隣小学校に通う子どもたちがたくさん遊びに来ています。町会からも、夏祭りへの出店や、小学校での避難所設置訓練の参加を団体に協力を呼び掛けるなど、一方通行ではない協力関係になっています。

町会・自治会は、住民交流や地域の防災・防犯活動、環境美化活動などに取り組む、私たちのくらしを支える大切な地域コミュニティです。町会・自治会の中には、集会所を持っているところも多くありますが、最近では少子高齢化や加入者の減少により、活動が先細っているケースが増えているようです。一方で、まっど市民活動サポートセンターには、NPOや市民活動団体から「活動場所がほしい」「広報・宣伝が難しい」といった悩みが多く寄せられます。町会・自治会の持つ集会所の魅力は、地域の身近なところにたくさんあり、自由度が高いこと。「場所はあるけど運営する人・コンテンツが不足している」「町会・自治会と、「想いはあるけど、活動場所や資金、広報に課題がある」NPOや市民活動団体は、お互いに持っている力や資源をシェアすることで、双方に支え合い、地域力を高めるパートナーとなる可能性を秘めています。本特集では、町会・自治会と、その地域で活動したい団体が手を取合うことで、地域力を高めている、そんな事例をいくつか紹介します。

うちの町会でもこんな風に使ってもらいたい! でもどうしたら...?



そんな町会・自治会の皆さん、ぜひ一度、まっど市民活動サポートセンターにご相談ください!



今年のキャッチコピーは「描こう、まつどのワクワクする未来。自分たちが実現したい新しい暮らしについて、82名が集まって語り合いました。今回は午前中の市民活動団体のパネル展示・情報交換や交流タイムからスタート。午後からは事前に応募のあった20代からシニアまで幅広い年代の5名がプレゼンし、その内容に関心を持った参加者と共にグループで対話を深めていきました。当日に様々な想いで提案されたテーマをご紹介します！



今年も対話の様子をグラフィックレコーダーの皆さんにステキに横造紙に可視化して頂きました！

- ☑ 松戸に多様なルーツを持つ若者が集まる秘密基地を作りたい！
- ☑ 「松戸でよかつた」っていつまで言えますか？
- ☑ 仮想空間「めたばくす4U」で人と地域が繋がる場所をつくりたい！
- ☑ 「助け合い」で被害を減らす「防災のしくみ」をつくりたい！
- ☑ 自宅1階をカフェスペースに。1杯のコーヒーから私も他の誰かも心地よい居場所を作りたい



つながる！  
ひろがる！

みらいカイギプロジェクトのその後

みらいカイギで多くの共感を集めたテーマは、実施メンバーを募り1年間「みらいカイギプロジェクト」としてサポセンのコーディネーターが伴走します。そしてサポート終了後も多くのみなさんが活動を続けられています。市民活動団体として届出をしたり、NPO法人を立ち上げたりしたところもありますし、個人でパワフルに活動を地域に広げているところもあります。現在も活動されている当時のプレゼンターの方から、いくつか活動紹介コメントを頂きました。

A はらっぱとそらプロジェクト

みらいカイギ  
プレゼンター  
『不登校×不登校つながる派遣プロジェクト(2019)』  
麓 加誓子(ふもとかよこ)さん

充電中(ひきこもりや不登校、ホームスクールなど)の当事者さんとご家庭の心と情報のサポートをしています。居場所を八柱市民センター和室にて奇数月に「U30 充電中のこども・わかもの居場所(はらっぱ)」、偶数月に「充電中のひとと関わるひとの〈ごちゃまぜはらっぱ〉」を開いています。また、サポート情報資料の郵送サービスも行っています。



C まつどゼロウェイスト

みらいカイギ  
プレゼンター  
『まつどでゼロウェイストをめざそう！(2021)』  
佐藤 誠(さとうまこと)さん

松戸市内のゴミ拾いを通して様々な世代と交流しながら、色々なイベントで「ごみ分別紙芝居」を上演し、分別の大切さを伝えています。またイベントで「エコステーション」を設置したり、リサイクルセンターの見学会、生ゴミ堆肥化推進やリサイクル商品代行回収、環境映画自主上映会でゴミをゼロにする活動を行っています。



B コミュニケーションスキルが身に付くカードゲームがつくりたい！

みらいカイギ  
プレゼンター  
コミュニケーションスキルが身に付くカードゲームがつくりたい！(2021)  
熊澤 典子(くまざわのりこ)さん/  
街のコーチング屋さん

ゲームづくり経験ゼロのメンバーで試行錯誤しながらの1年目を過ごし、2023年に千葉商科大学政策情報学部との協力が得て2つの「リフかる」を製品化することができました。念願だった「'23ゲームマーケット秋」に出展し、好評により増版。今後は「カードを使ってコミュニケーションを考える」研修会やゲームの体験会を行っています。



D にじいる交流会

みらいカイギ  
プレゼンター  
LGBTQ にじいる交流会を作りたい！(2022)  
ひびきさん

LGBTQ の人たちの交流の場を松戸に作ろうという思いで、2023年の4月にスタートしました。1回目は4月に、2回目は9月に交流会を行い、どちらも16名の方たちが集まってくれました。楽しくゲームなどして気持ちをほぐしてから、性自認についても含めていろいろな話題を話し合いました。第3回目は2024年の6月ごろやりたいと思っています。当事者の方々、性自認に関心のある方々、是非参加してください。



まつどみらいカイギ  
2018年~2022年のプレゼンター

いろいろ  
ありました！



2022年	2021年	2020年	2019年	2018年
<ul style="list-style-type: none"> <li>☑ まつど地域DE子育てプラスゆとり・にっこり障がいのある人、ひきこもりの人、健常者も笑顔で働ける場所をつくりたい</li> <li>☑ LGBTQ にじいる交流会を作りたい！</li> <li>☑ 障がい者が楽しく働けるまつどワイナリープロジェクト</li> <li>☑ 不登校の子どもたちが笑顔になれる居場所をつくる！</li> <li>☑ 持続可能なボランティア社会の実現に向けて</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☑ コロナ禍で学校行事が潰れた小・中学生に楽しいイベントをまつどで！</li> <li>☑ コミュニティ自販機を作りたい</li> <li>☑ コミュニケーションスキルが身に付くカードゲームがつくりたい！</li> <li>☑ 自分の個性が輝く街にまつどでゼロウェイストをめざそう！</li> </ul>	<p>コロナが始まった年ですわ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>☑ 松戸でマツカリ、商店街を楽しく買い物してみませんか</li> <li>☑ ワーキングマザーの会まつど(仮)を立ち上げたい</li> <li>☑ 学校ではダメなこと、全部やっちゃおう！</li> <li>☑ 食べることを知り「SDGs」に取り組もう</li> <li>☑ コロナ禍だからLINEでつながろう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☑ コネクト松戸↓世界 写真展を通じてつながるプロジェクト</li> <li>☑ キテミテマツドに文化活動広場を！</li> <li>☑ 全ての世代が楽しめるコミュニティホビーカフェを作りたい！</li> <li>☑ 不登校×不登校つながる派遣プロジェクト</li> <li>☑ 常盤平さくらまつりをゴミゼロに</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☑ お散歩するのに便利な松戸のミクロマップをつくり隊</li> <li>☑ 地域通貨「ありがとう」を子どもたちと一緒に実現する！</li> <li>☑ ヤングとシニアの協働について</li> <li>☑ 商店街や公園で屋台村を定期開催したい</li> <li>☑ 障がいの有無に関係なく共生する社会をつくる</li> </ul>



町会・自治会長さん必見!?

# 町会・自治会で活用できる最新ICTツール

町会・自治会活動の一部をICT化(※)することは、役員の負担を軽減し、会員の利便性を向上させることが同時に可能な場合があります。まだ一般的ではありませんが、実際に松戸市内でも活用されている事例をここではご紹介いたします！

※ICT化：直接対話や書面などを使って行っていたり取りをインターネットのような情報通信技術に置き換えること



いつでもどこでも気軽に確認可能!

WEBカレンダーと予約フォームを使った予約管理



参考 紙敷あとHP  
https://sites.google.com/view/kamishiki-and



キャッシュレス(電子)決済



スマートキーの活用(スマートフォンアプリなどで施錠&開錠)

参考



防災や交通安全、景観づくりなど、コンテンツも豊富!

岩瀬自治会 HP  
https://www.iwapon.org/

参考



年間予定やゴミの出し方、各種書類の閲覧などができます

八景台町会 HP  
https://hakkeidai-matsudo-chiba.kyujoujo.com/

これまで

ICT化



情報

## 集会所にWi-Fiを導入すると、どう変わる?

高齢者も、子ども・若者もスマートフォンを持つことが当たり前になってきていますが、必ずしも自宅にWi-Fi環境が整っているとは言えません。身近な環境でWi-Fiを利用できるようにすることは、地域住民の生活の利便性向上につながります。

会員外の人でも広く使いやすい環境を整え、地域に拓いていくことが、「みらいの会員」獲得へのキッカケとなるかもしれません。

※法人化されていない団体でも、Wi-Fi導入が可能です。



## CHALLENGER

### チャレンジャー 市民活動団体紹介

# 循環する暮らしを愉しむ会



お問合せ

代表：小林美紀さん  
E-mail：mikicova7@gmail.com



松戸で助成対象になった  
バッグ型コンポスト  
ローカルフードサイクリング(株)  
より提供

畑で  
子どもたち

「土はいのちの源(みなもと)。土から色々なことを学ぶことができるし、自分も土に育てられてきた」と小林さんは語り始めた。幼い頃、祖母が耕す畑で遊ぶなど土に慣れ親しんでいた。土の匂いや手に触れた時の感触、ベタツとしていたりふわふわだったり。そこから草や花が育ち樹々は果実をつけ、いきものはその命をもらって育っていく。自分の育ちや子育ての傍らで「土の魅力」を常々感じていた。子どもが幼い頃は、冒険遊び場や農作業などの活動に参加し子どもたちと自然体験を楽しむ。自然のなかでは五感を使って遊んでいるから、子どもたちは満ち足りたとてもいい笑顔になる、自分も楽しめるしね」と嬉しそうに話す。

LFC(Local Food Cycling)の考え方に会ったのは、2020年6月。NPO法人循環生活研究所(現在はローカルフードサイクリング(株))代表のたいら由以子さんの話やその素晴らしい取り組みを知り、感動。廃棄し燃やされ二酸化炭素を排出していた生ごみなどが堆肥になり土に還すことができる!

これによって生ごみが減容しCO<sub>2</sub>削減につながる事ができた、と話す。この春からは、生ごみを捨てない暮らしの取り組みが全国に先駆け松戸市内でスタートするが、そのサポートをする予定である。また教育機関での環境教育にも取り組んでおり、これも広げていきたい、と意欲的だ。また、2か所の自治会と協力して、半径2キロ圏内の循環する暮らしの実現を目指して動き始めた。具体的には、自治会館を拠点に、バッグ型コンポストや資材の販売提供、相談会の開催、できた堆肥は公園の花壇で活用など。小さな資源循環が足元で始まっている。

今後は、エコバッグやマイボトルが着実に広がり始めたように、コンポストを暮らしに取り入れてもらいたい、歯磨きをするように、暮らしにあるのが当然!になるように活動を続けていきたい、とのこと。「賛同して下さるかた、一緒にやっていきませんか」と呼びかけてくれた。



※コンポスト「堆肥(compost)」や「堆肥をつくる容器(composter)」のことです。家庭から出る生ごみや落ち葉、下水汚泥などの有機物を、微生物の働きを活用して発酵・分解させ、昔から伝承されてきた日本の大切な知恵のひとつです。引用：https://lfc-compost.jp/

## NEW REGISTRATION

### サポセン 新規届出団体 を紹介します!

2023年11月16日～  
2024年3月15日(届出順・敬称略)

- 読書で「市民力」upをめざす会
- おとなの寄り道処。On y va!
- 関さんの森エコミュージアム
- どこでも菜園計画
- 和気あい太鼓のみり
- ムジカピアノサークル
- 南部小学校 家庭教育学級
- 北国分ヤンチャーズ
- 音楽愛好会 セカンズ
- こころほっこりステーション
- Free Liberty Based 母と子のつどい
- まつど市民の会
- フィオリの会
- 人福祉動物問題相談所
- 松戸シティガイド
- 松戸市小多機・看多機連絡協議会
- まつど片づけの会
- 松戸市矢切土地改良区
- クローバーの会
- 青春音楽団
- ちゃ組
- ザ・昭和懐メラーズ
- みんなで創ろう”お楽しみ文化活動”企画会議
- あさま台ダンス同好会
- 支援者つながるカフェ
- 障がい者犯罪被害者支援ボランティア団体
- 松戸市で若者が語り部を行う会 Association of Youth Storytelling in Matsudo





# ボランティアで国際交流からはじまる関係

まつど市民活動サポートセンター  
コーディネーター  
齋藤 久代

「日本人の友達があほしいけれど、なかなかできない。」と外国にルーツがある方から聞くことがあります。私も以前、海外生活を送る中で、現地の人と対等にコミュニケーションをとりたい、友達になりたい、楽しい時を過ごしたい!と思っていました。そこで、私がしたことの一つがボランティア活動です。

直接活動先のドアを叩いたり、ボランティア募集サイトや知人の紹介で、日本の経験を活かす系、国際映画祭などのお祭り系、専攻していたSDGs教育関連系などのボランティアをしました。現地語で自分の意見も交えながらネイティブや多国籍の人々と話せる楽しさ、現地ならではの会計・接客方法、人や自然との関わり方を学び、出来るが増えることで達成感と充実感を覚えました。これらのボランティア経験が、現地での進学と今後のキャリアに繋がっていくことになりました。

そこで出会った友人は、はじめは日本人の私に興味をもち、自分や祖先が通ってきた外国人・移民者としての苦労を思い、親切にしてくれたのかもしれない。最終的には人種とかはどうでもよく、一人間として付き合いをしています。だからこそ今でも居心地のよい関係が続いているのでしょう。

松戸で生活する外国にルーツのあるみなさん、市民活動が盛んな松戸でいろいろなボランティア体験をすることをオススメします!松戸に住む日本人のみなさん、松戸にいながら世界を知る機会がたくさんあります。お互いに興味があるボランティアをしながらお互いのことを話し、まずは国際交流をしてみたいかがでしょうか。そこからさらに豊かな関係が生み出されると信じています。

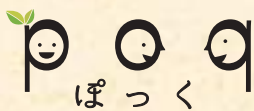


プラスチック袋モンスターで中学校を歩き回り、ごみゼロ活動



外来種(ヒマラヤンブラックベリー)駆除活動

## サポセンニュースレター



## 第34号(2024年猫柳号)

発行日: 2024年3月15日  
(※年4回発行)  
発行元: まつど市民活動サポートセンター  
(指定管理者 NPO法人まつど NPO協議会)

「ぼっく」の主な設置場所 松戸市内の図書館、市民センター、公民館など各種公共施設の他、松戸駅などに設置しています。

### 「ぼっく」設置協力店

- Sampo Café (八ヶ崎 7-31-5)
- 子育てつながるセンター co-no-mi (本町 13-27)
- 松戸観光案内所 (本町 7-3)
- やしま商店 (本町 6-3)
- 隠居屋 IN kyo-Ya (南花島中町 196)
- はれの日サロン (常盤平 3-11-1 西友常盤平店 5階)
- いわぼんホール (岩瀬 38)
- 紙敷あんど (紙敷 1135)
- さんさん カフェ (仲井町 2-6-4)
- 本屋 BREAD&ROSES (常盤平 4-8-15 ウエキビル 1F)
- omusubi 不動産 (総台 1-21-1 あかぎハイツ 112)
- Coworking Space Flat Café & Bar (新松戸 3-289)
- 昭和セレモニー松戸・矢切・北小金儀式殿 (千駄堀 620-1・栗山 19-4・殿平賀 75-2)
- 松戸スタートアップオフィス (松戸 1307-1 松戸ビル 13F)
- まちかどアトリエ Neiro (松戸 1117 ビラ松濤 2F C号室)

### 「ぼっく」の配架にご協力いただけるお店・施設を募集します!

ニュースレター「ぼっく」を、お店や施設に配架していただけますか? ご協力いただいたお店・施設は、この欄で名称・所在地等をご紹介します。もちろん、無料でお届けし、部数もご要望に応じます。詳しくは、まつど市民活動サポートセンターまで、お電話・メール等でお気軽にお問合せください。

## まつど市民活動サポートセンター

〒271-0094 松戸市上矢切 299-1 (総合福祉会館内)  
TEL: 047-365-5522 FAX: 047-365-5636  
E-mail: hai\_saposen@matsudo-sc.com  
URL: <http://www.matsudo-sc.com/>  
facebook: <https://www.facebook.com/matsudo-sc>

開館時間  
月～土: 9時～21時  
日: 9時～17時

休館日  
第1・第3水曜、  
年末年始  
(12/29～1/3)



## 編集後記

確定申告も始まって年度末の空気が加速!立春を過ぎて、寒暖を繰り返しながらも春がそこまできていますね(ひ)